5月12日 木曜日 11日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話(代表)京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集 港区芝田村町5の6
電話代表芝(43)1163番
東京 振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第3093號 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認第232號)
(中華郵政台字第637號執照登記為第2類新聞紙類・内政内著証報滬内台鑒字第0136號)
4版

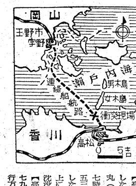
あすの暦 5月12日・木
旧 閏3月21日
月齢 19.6
日出 前 4.39
日入 後 6.36
月出 後 10.59
月入 前 8.26
満潮 前 7.00 後 9.30
干潮 前 1.45 後 2.15
(中潮)

天気予報
今晩 南西の風やや強く曇がちで南部は一時小雨
明日 南の風曇時々晴

けさ瀬戸内海で連絡船沈没

死傷九三、行方不明一五名

総乗船者七九五名 大半、修学旅行の学童



【高松発】[illegible]

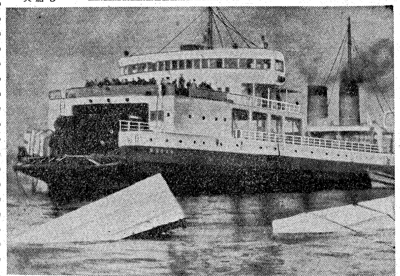
七九五名(うち六五名が船員その他従事者)死者三六名、負傷者五七名、行方不明一五名、生存者六八七名

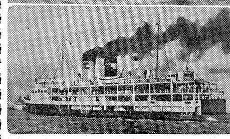
(国鉄本庁調べ)

当日の朝は霧がひどく高松港一帯には濃霧注意警報が発令されてお[illegible]

学校別遭難数

▽松江市川津中学[illegible]▽高知市南海中学(先生四名、生徒百廿名)▽広島県市本江南小学校(先生七名、生徒九十七名)▽愛媛県庄内小学校(先生七名、生徒七十九名)





【写真㊤は衝突現場、手前沈没した紫雲丸の船体の一部、大きな船は救助作業中の宇高丸(高松=共同電)送と㊦は遭難した紫雲丸】

濃霧と航法違反?

原因の究明へ 海難審判所乗出す

[illegible]船五隻、第六管区(広島)から巡視船五隻、港内艇四隻、第七管区(門司)からヘリコプターな[illegible]、救助作業にあたっている

事件を重視した中央海難審判所は会議を開き、同理事所と海難審判理事所からそれぞれの理事官を現地に派遣して調査を始めた

事故後欠航となっていた宇高連絡船には眉山丸が就航して同十[illegible]分から同航路が再開した

紫雲丸沈没事件につき中央海難審判理事所は洞爺丸惨事につぐ海難事件として十一日朝十時から寺田所長以下全理事官が緊急会議をひらき同日中島理事官を現地に急派調査に当らせることになった

寺田所長はこのような惨事を惹起した原因は次の二点にあるのではないかとみている

一、この朝は現場付近は濃霧だったとすれば両船はきめられた航法を厳守したかどうか

二、現場付近は東流する潮流がつよく、しかも掃海航路に当っているので航海に多少の制約があるかも知れないが、船の吃水と潮流との関係などについての調査に誤りを生じたのではないか

海上保安庁三田警備救護監は十一日朝衝突の原因について次のように語った

両船ともレーダーをもっており、お互いに接近して汽笛で見当をつけたのではないかと思う、濃霧の[illegible]法に違反するもので、進行する場合にはお互いに目で船を確認したのでなければならない、確認できない時は速度を落して操船することになっている、また紫雲丸が沈没したことから見て少なくともぶっつけた第三宇高丸の速力は相当早かったのではないかと思う

事故頻発を重視

政府 国鉄に厳重警告

政府は十一日午前宇高連絡船紫雲丸沈没事件について、三木運輸相から事情をきいて事態の収に拾万全を期する方針であるが、同事件について根本官房長官は「きわめて遺憾な事件である、事態が明確になったら必要な措置を講じたい」と次のような談話を発表した

「運輸当局の情報によると、遭難者の大部分が救助されたと伝えられているが、洞爺丸、相模湖事件など最近相ついで船による事故が発生していることは極めて遺憾である、しかも今回の事件は小、中、高校生を乗せた国鉄連絡船による事故であり、運輸当局には今後の運航について万全を期するよう警告するとともに、学生の旅行については十分注意を喚起するよう関係当局に手配したい、政府としては事情が明確になるのを待って必要な措置を講じたい」

事故の絶滅へ

三木運輸相談 恒久対策本部設置

三木運輸相は宇高連絡船紫雲丸の遭難事件につき次のような談話を発表した

昨年の洞爺丸事故に引続き連絡船が再び大事故を起したことは運輸大臣として誠に申訳ない、さしあたり救助に全力を注ぐとともに不幸遭難した人々の遺族に対してはできるだけ弔慰の方法をとりたい、運輸省としてはきょう直ちに植田鉄道監督局長を現地に派遣して見舞方法、原因の調査を行う、最近連絡船による事故の頻発に鑑み、運輸省内に恒久的な緊急対策本部を設け、この事件の責任の所在を明らかにし、事故の絶滅を期したい、現地調査の結果にもとづいてすみやかに責任者の処断を行いたいと考えている

死者に六万円 国鉄で補償

国鉄では紫雲丸犠牲者に対し次の補償を行うことになった

▽死亡者 香奠(総裁名)五万円、(四国鉄道管理局長名)一万円、供物(果物カゴ)三千円以内、線香千円以内、花(国有鉄道名)五千円以内 ▽負傷者 一万円

両社、緊急質問 予算、運輸両委で

重視した左右両派社会党は十一日午前の国会対策委で左社は赤松勇氏が衆院予算委で、右社は池田禎治氏が衆院運輸委でそれぞれ緊急質問することを決めた

浅沼右社書記長談 さきに洞爺丸事件で千余名の生命を失い、今また宇高連絡船紫雲丸の沈没事件をひき起した、この重なる事故について国鉄当局は責任を痛感すべきである、特に長崎国鉄総裁は洞爺丸事件解決後、身をひくと世間をごまかしてきたが、この際あらゆる意味の責任をとって辞職すべきである

国鉄宇高連絡船紫雲丸沈没事件を

当時の気象

【大阪発】紫雲丸沈没当時の気象状況について大阪管区気象台は次のように語っている

十日夜四国南方海上にあった温暖前線が急速に北上して瀬戸内東部で内海の寒気と混合して今朝の濃霧となった、高松では十一日朝濃霧注意報を出していた

台湾へ回国致敬団

蔣総統の就任一周年を祝し

蔣総統の総統就任一周年式を慶祝して留日東京華僑総会では回国致敬団を祖国に派遣することになり、団長呉酒村氏(副会長、蓬萊商事社長)以下卅名は十一日午前九時羽田発空路台北へ向った、なお呉団長は会長蔡長庚氏の代理として、蔡会長の蔣総統、陳副総統あてメッセージを携行した、一行の氏名次のとおり(カッコ内は華僑総会役職名と職業)

▽団長呉酒村 ▽副団長 劉天祿(理事、永昌貿易社長)施加妙(理事、大新宿公司総経理)▽顧問林貴生(医院長)▽総務徐福圳(医院経営)▽会計林豊田(医師)▽秘書蔡東華(遼東影業東京弁事処経理)▽団員徐再傳(朝日土木総経理)林鑽燧(料理業)方錫疇(医師)謝金定(福一商事総経理)陳長沂(東和貿易経理)呉家堤(布地商)陳田滓(化学技師)廖旭(商業)劉文雄(医師)廖順元(医師)馮詹波瀾、黄陳有象(愛知華僑総会理事)詹金貢(商業)陳勇茂(一陽商事経理)邱鶴石啓謀(興南貿易総経理)鄭寿(食料品業)湯国俊(同)鄭犠(料理業)梁其発(大丸公司経理)張蜜如(研究生)徐文子(徐再傳夫人)石翠雲(石啓謀夫人)

蔣総統と会見 スタンプ司令官ら

【台北九日発AP=共同】訪台中のスタンプ米太平洋艦隊司令長官は九日午後ランキン米大使とともに蔣総統と会談した、これに先だち同司令長官は兪大維国防相、チェース米軍事顧問団々長、プライド米第七艦隊司令官らとそれぞれ会談した

伊下院議長にレオン氏

【ローマ十日発ロイター=共同】イタリア下院は十日グロンキ氏の大統領就任で空席となった下院議長の選挙を行った結果、三百十一票対二百十三票、白票廿六票でキリスト教民主党のジョヴァンニ・レオン副議長を議長に選出した

国府、米へ覚書

米・中共交渉問題

【台北六日発ロイター=共同】信頼できる筋によると、国府は六日米政府に覚書を送り、米・中共間で台湾問題について直接交渉が行われ、なんらかの決定ないし取決めが成立しても、国府はそれが国府の利害にかんする限り拘束されないむね通告したといわれる

同覚書はさらに国府は米国に事前に相談しないで中国本土を攻撃しないことを確約しているがこれは国府が台湾停戦を受諾することを意味するものではないと同筋では語った

一方非確認情報によると葉公超外相は六日立法院の秘密会議に出席し台湾問題にかんする米・中共間の直接交渉に対する国府の反対態度を重ねて強調したといわれる

米麦価格引下げず

衆院予算委 河野農相言明

十一日の衆院予算委員会は午前十時卅五分開会、総括質問を続行、右社の小平忠氏が米麦価格問題について質したのに対し河野農相から次のように答弁があった

河野農相 卅九年度は百十三万石[illegible]卅年度は百一万石の増産目標を立てている、また安い外国の米麦を輸入することと国内米麦買上価格を引下げることとは別問題であり価格引下げは考えていない、消費者米価の引上げはしないし、配給量は前年度通りやる、米の買上価格にも最善をつくし農民の期待にそうつもりだ

粋人辞事

面白い名まえ

田辺禎一



この間の地方選挙で、候補者の名を見ていると、中々面白い、妙な名まえが発見されて興味をひいた。中には「何子」とあるから女かと思っていると、それがいかめしい顔をした男であったりした。

かつて明治年間に陸軍の軍楽長であった、有名な永井建子という人があった。この人は「道は六百八十里」だとか「雪の進軍」だとか、その他よく知られた軍歌の作曲者で名高かったが、それが「永井建子作曲」として発表されたときに、初め私は女の作曲者とは珍らしいから、是非紹介してもらいたいと、ある人に頼んで、さて逢って見たらば堂々とした軍人であったので驚いたことがある。

現在、濃艶な作詩家として有名な西条八十君の色っぽい歌が作曲されて、世に発表された時に「西条八十作詩」とあったのを、「西条ハナ」と読んで、濃艶な女だと思ってラブレターを送って面会を求め、逢って見て男だったので失望した青年があったということである。

それから「和田平助」という人がいるが、ある時自分の姓名を横書きにする必要があって、それを右から左に横書きしたところが、それを左から右に読んで、「助平だわ」とは面白い名前があるといった人がある。

私の親友に東大の耳鼻咽喉科長をしていた医学博士颯田琴次さんという人があるが、わが国音声学の最高権威であり、音楽にも非常に精通した人であり、従って多くの音楽家がノドを痛めると、颯田博士に診察を請うという習慣になっているくらいで、ある時東大の病院に一人の女が診察を受けに来た時、颯田博士はその女のノドを見て、

「これはすばらしく立派なノドをしている。私が紹介してやるから音楽学校に入って声楽の先生にでもなったら、少しは金がとれるだろう」

といったらその女は笑って帰って行った。後で聞いたら、その女は浪花節の二代目雲月(今の伊丹秀子)で、当時既に数百万円の収入があったという。

明治の末年から大正の初めにかけて、東京音楽学校の教授で、ピアノの天才といわれた久野ひさという独身の女があった。一時は三浦環女史と並んで艶名をうたわれた人で、環女史ほど美人ではなかったが、どこかチャーミングなところがあって、ちょっと男好きのする婦人であった。後にこの人はピアノの留学生としてウィーンに行き、神経衰弱になってアパートの屋上から飛び降りて自殺してしまった。

この久野女史がある時、ノドを痛めたので友人が「それならば東大の颯田博士のところへ行って診察してもらったらよい」と教え、念のため紙に「颯田琴次」と書いて与えた。久野女史はその紙片をふところにして颯田博士のところへ行く途中で、自動車に衝突して人事不省になり、警察へかつぎ込まれたが何者とも判らない、女史の様子を見ると、派手な和服を着て、色っぽい女であったので、芸者かしらんと思って懐中を見たら「颯田琴次」と書いた紙が出て来た。

その日の夕刊を見ると「琴次という芸者が自動車にひかれた」と出ていた。

昔日本舞踊の大家に西川鯉三郎という人がいたが、その人の門弟の中に「鯉二郎」という若い男があった。その男が「おまん」という美しい女と恋に陥り、二人は一緒になれないのを悲観してついに心中してしまった。

昔から男と女とが心中をすると、女の名を上に、男の名を下に書いて、続けて読む習慣になっている。「お染久松」とか、「小春治兵衛」とか、「お俊伝兵衛」「お夏清十郎」などという。そこで「おまん」と「鯉二郎」を重ねて読んだら、みんなが笑い出してしまった。



【写真は伊丹秀子さん】

市況 全面安

きょうの市場は任米資産返還が個人にかぎられると伝えられて東海上、旧物産、旧商事が急落、一両日来の場味悪化に拍車をかけ、全般は全面安の場面、特定株は東海上に日興などの買支えも見られたが、マバラの売物に押されて八円方急落したのをはじめ他も一-三円安と軒並軟化、雑株も旧物産、旧商事の大幅安から人気は悪く菱地所、三井不など華仕手株や前日買われた発動機金ヘン株の一角も売物がちで冴えない場面を続けた

▽安い株=旧物産廿七円、旧商事十六円、東海上八円、発動機、三井不六円、東北電、菱地所五円、菱化工、台糖、藤田興四円

東京株式仲値 □新株落△配当落 (11日前場終値)

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	74	旭化成	310	カボン	50
東海上	280	日本曹	71	山陽パ	98	三井物	136
郵船	56	旭電化	78	日本パ	91	第一物	96
新三菱	89	三菱造	72	国策パ	95	白木屋	248
日清紡	271	三井造	105	東北パ	112	高島屋	78
味の素	290	三菱重	60	大東紡	92	日活	81
三越	272	石川重	90	[illegible]船	51	松竹	202
平和不	197	[illegible]工	135	三井船	46	東宝	一
三井金	104	東洋ベ	112	飯野海	51	大映	173
三菱金	83	日立造	42	西武	353	日本粉	120
日鉱	76	[illegible]貨	45	藤田興	222	日清粉	150
住友金	93	日平	25	東京ガ	64	日本ビ	150
三菱鉱	41	古河電	66	東[illegible]	425	麒日ビン	174
古河鉱	61	日立製	67	日[illegible]	1810	キリン	198
同和鉱	107	東芝	65	東[illegible]	78	宝酒造	79
住友炭	60	三菱[illegible]	85	三井銀	69	台糖	222
三井山	57	小松	62	富士銀	85	明糖	111
北海炭	50	日本光	138	日証金	90	甜菜糖	111
東邦亜	62	キヤノ	142	安田火	111	野田醤	189
[illegible]石	65	東京光	39	大正海	87	[illegible]水	269
日石	92	東洋紡	134	住友海	79	明[illegible]	162
昭和石	93	[illegible]紡	120	千代田	一	日水[illegible]	74
東[illegible]	111	富士紡	108	[illegible]	66	昭和[illegible]	91
三菱石	99	大日紡	78	日製[illegible]	68	東洋[illegible]	69
大協石	116	日東紡	60	八幡鉄	51	台同[illegible]	100
日東化	70	[illegible]倉	35	富士鉄	49	三[illegible]	82
日産化	72	呉羽紡	78	神戸[illegible]	56	大阪糖	151
三菱化	94	東邦レ	104	日特[illegible]	128	王子紙	195
三井化	105	[illegible]	65	日軽金	171	十条紙	207
保和[illegible]	108	中[illegible]	54	日金工	57	本州紙	87
東合成	105	帝人	118	日セメ	121	三菱紙	一
信越化	83	東洋レ	160	[illegible]セ	233	北越紙	50
東高圧	113	三菱レ	119	小野田	77	三井不	780
		倉レ	76	[illegible]ゴ	204	三菱倉	500
				旭硝子	138	三井倉	81
				富士写	115	[illegible]倉	92
				小西六	105	東洋埠	183

内外抄

濃霧のためとはいえレーダーもあった筈。衝突を起した紫雲丸の行動こそ疑雲。

◇

民主党から自由党へ誘いの手が動く。振られても今国会乗切りの手助けになるとの算盤。

◇

米若、なにはともあれ押し切ってぶっ放すは利口でないよ。富士米を製造するようなもの。

◇

英の熱意と米との歩寄りで今度こそモノになりそうな四巨頭会談、そこで世界平和もモノになりそう

またまた国鉄連絡船沈没の大惨事 洞爺丸に次いで国鉄の大黒星。一人でも多く助かれとのみ。

内外抄 吉田柳司選

縦万二題の母を困らせる 杉並 吉岡 碧雄
若夫婦伯父は笑って戸を叩き 北 詩田 柳冢
薬院になると静かな人ばかり 新宿 斎藤 耕月
大掃除する桿もなく小さく住み 千代田 南 渉波
小刻みに踊し何度も憎いわせ 品川 蝸牛
春の宵映画館よりベンチよし 川崎 小宮せいじ
【賞】バスガール柩史にも無い事をいい 江戸川 伊豆 久坊

ジグザグコース 制服の売春

土建汚職の道具に"制服の処女"が使われ、その相手になったのは相当の地位にあり、しかも年ごろの娘をもっている男だ!という鹿児島"松元事件"のA紙の報道は"売春問題"にマヒしかかっている世人を驚かせた。取引や汚職の陰に女性が"道具"として使われることは、いまにはじまったことではない。造船汚職の秀駒は周知のことだし、近くは都総務局渡辺勤労部長の汚職問題もある種の女性が使われたといわれている。プロ野球選手の引抜き合戦にさえ芸者が"ピンチヒッター"に起用されるのだから、税務署員の抱き込みに芸者が活用されたという話も恐らく本当のことであろう。このようなことを数えてくればキリがあるまい。

にもかかわらず世人は"松元事件"に耳目をひかれた。この事件は土建業者の松元道雄夫妻が、県営工事の御用業者になるため金品の贈賄だけではたらず、役人に廿数人の女性をあてがったというものだが、注目されるのは人身御供にあげられた女性の全部が素人娘であったことで、しかも十五歳から十八歳の娘が九人もいた、その中のある女子高校生は学校から呼びつけられ、制服のまゝで売春を強要させられたことである。「汚職―売春」は珍らしくもないが「汚職―制服の処女―売春」となるとおだやかではないし、そんなヒドイ前例もあるまい。

そうはいっても、芸者などの売春なら問題にならないというので は決してない。芸者だってむろん人間なのである。ことで、とくに"松元事件"を注視したいのは"制服の売春"をさせてまで汚職の目的を果したということだ。つまりそれは、汚職というものの内容がそこまでヒドクなってきているということの一断面なのであり、掘ればこのようなことは他にもまだあるのではないかということにもなる。"松元事件"は、汚職も、人身売買問題も、これ以上放置してはおけないということを、強く世人に訴えているのだ。(晶)

青春無宿 (2)

大林清
下高原健二画



楽隊乞食 (二)

アコーデオン弾きははね起きたが、自分をなぐり倒した男におどりかかるためではなかった。ほかのものは眼中にはいらないように、路上へ投げ出されたアコーデオンを拘きあげようとしたのだ。

「何だそんなもの!」

チェックの上着の男の足が、アコーデオンを真上から踏みつけた。

アコーデオン弾きは、長髪を乱れかからせ、フラフラと立ちあがった。口の周囲から顎へ流れた鼻血が、青ざめた顔を一層凄惨に見せていた。

堰きとめられたタクシーは、警笛を鳴らすのも忘れていた。通行人も関心でいられなくなった。通りかかった勤め帰りの女給たちも混って遠巻きに 人垣を作り はじめていた。

「ざまァみやがれ、楽隊乞食の群しゃがって、銀座でのさばると承知しねえぞ!」

愚連隊は切りあげ時と思ったらしい、肩を怒らせて威嚇すると、仲間をふりむいて眼くばせした。

「待て!」

アコーデオン弾きがふりしぼるようにさけんだ。

「なに? まだ文句があるのか」

チェックの上着はあるきだしかけた小先をむけなおし、いったんポケットへおさめた手を抜いた。

その時、どこから飛んで来たのか、セロファンに包んだ花束が、凄んだその肩先へまともにあたって、二、三本の真紅のカーネーションが路上へ散った。

「誰だ!」

「俺だ」

間のびした調子で、だがすぐ答えて、タクシーの陰から一人の男が現れた。型のくずれた背広は着ているが、下はじかにメリヤスの[illegible]

アンダー・シャツ、無精たらしく両手をポケットに突込んだまま、暗闇から牛を引き出したように、チェックの上着の前へ立ちふさがると、

「よく見る顔だが、名前は何て云うんだ」

「てめえは誰だ!」

「誰でもいい、こっちが先にきいてるんだ。名前があったら云った[illegible]

とりかこんだ。

「おう、話をつけてやるから来い」

チェックの上着が云ったのと呼吸を合せて、仲間が左右からその男の腕をとった。

「話はここでつけよう、お前たち楽器を壊した弁償をしろ。アコーデオンは高いぞ、四万か五万か、もっとするかな」

男は意外な成行きを見まもっている艶歌師たちをふりむいていきいた。

が、左右から腕をとったのが、その時いきなり引き立てにかかった。

「待てよ、待てったら。喧嘩は嫌いだと云っ てるのがわ からないか。おい、そこらで見物している誰か、お巡りさんを呼んで来てくれ。電話なら百十番だ」

たいして抵抗もせずに曳きずられながら、男は人垣を見まわした。

「だまれこいつ!」

チェックの上着が苛立って、アコーデオン弾きを打ち倒したのと同じ一撃を、正面から叩きつけて来た。

話題を解く　ご難の踊り子　〝ローズ丸山〟送還てんまつ記

〈海外へ海外へと芸能人は靡く…こゝ一、二年の芸能人の海外渡航ブームはめざましいものがあり、有名、無名の歌姫、舞姫がハワイへ、マニラへ、アメリカ本土へ、さてはパリへと続々海を渡っているが、たまたまマニラのナイト・クラブへ出演のため渡比した元ストリッパー九名の一行中、いわゆる「下品な踊り」という非難を受けた一踊り子が、強制送還されるという初めてのケースが起り、国際的な反響をまき起すに至った、これに伴い行を共にした「益田隆と渋谷東宝舞踊団」までが国外追放の処分を受けるというニュースまでが舞込み、一時はまさにてんやわんやの態となったが、幸いこれは誤報と判って関係者はホッと胸をなで下した、しかし何といっても踊り子の送還は初のケースだけに、今後に影響するところが憂慮されている、以下そのてんまつを追ってみる〉



【写真はローズ・丸山】

ソバ村食った益田隆一行
外務省、大東あけみらの旅券交付しぶる

◇この事件はローズ丸山だけでは済まなかった、二…FPのマニラ特電は、比島… [illegible] …ースを伝…後の調査で…隆一行とを混同した誤報であることが判明、留守を守る益田舞踊団のマネジャー増田達人氏からAFPに対する抗議が行われるなどあって一応収まりがついたが、同舞踊団は引続き十日までマニラ公演を続行、これがロングとならなければ目下話の来ている香港かセブ島へ向う予定で、帰国は遅くも今月末とみられている



益田隆

◇これについて増田達人氏は語る

「ロッペ・サリエルにしても、その通訳の立場にある小田にしてもなかなかの食わせものですヨ、一向に約束した金も送って来ないのでいま現地に国際電話を掛けて打合せ中です、ストリッパーたちと同行した件についてはいろいろ裏に複雑な事情があるらしいのですが、山中君でなければわからないので…」

◇また一方今回の事件が契機となって外務省の関係筋が殊のほか硬化し、近くハワイのナイト・クラブの招きで渡布する予定であった大東あけみ一行に対する旅券も、彼女が現在浅草のストリップ劇場に出演中であるとの一条をタテにしてなかなか下付されず、このため大東は松竹の重役に泣き込んで「ストリップはやったことはないしストリッパーでもない」旨の証明書を発行してくれと強引に頼んでいるというウラ話もある

出発前から〝ものいり〟
複雑なストリッパー選考事情

◇そもそもこのマニラ行ショウ団の話が起ったのは本年一月初頭で、比島の興行者ロッペ・サリエル氏（タニイ・カンポを連れて来て白井にチャレンジさせた人）がその通訳小田一彦氏を通じ最初日劇ダンシングチームに話を持って来た、日劇では当時渋谷東宝でショウを上演、赤字に喘いでいた山中寿氏を紹介した、山中は渡りに船とこの話に飛びついて自らマネジャーとなり益田隆、真田実、中西初枝、緑圭子、渋谷東宝ダンシングチームなど一行卅五名のショウ団を結成したが、さて出発予定の一月十二日が一週間延び、十日延び、一月延び、二月延びとなると、準備の金はかゝる、他の仕事はみんな断ってしまったので収入の途はないので、遂に山中は自分の家を売って金をこしらえたとまでいわれている

◇一方、このショウ団には最初ストリップ要員として曙竜代、マミー川村ら四名が加えられており各人それぞれ準備を進めていたが、途中でストリップは芸能ブローカー南某が小田一彦の内命を受けて別途に九名を編成することになり、美山えみを頭にローズ丸山、ジョイシー水田、ミキ星空、鞭くるす、マミー川村、深水とも子、キティ若見、春日くるみがすったもんだの末、出発真際に確定した

◇このため最初本団と一緒に行くべく準備を進めていた曙竜代はキャンセルされることになり、山中寿氏はこれに対して一万五千円のキャンセル料を小切手（四月廿三日）で支払って出発したがこれが不渡りとなって曙竜代のマネジャーは大憤慨、場合 [illegible]

罪を一人で背負う
ブラジャーをとったゞけで警察行
すべて小田（マネジャー）と水田（ジョイシー）の演出？

◇延びに延びたが、とにも角にも四月三日午後五時横浜港出帆のクリーヴランド号で一行はマニラに向けて出発した、ストリッパー九名も同乗したわけである、益田隆一行は九日初日でマニラ市のオペラ・シアターで公演を行ったほか、闘牛場などのページェントにも出演、大好評のうちに香港、セブ島などにも向う予定と伝えられていたが、これより先き、去る四月廿日にストリッパー一行中のローズ丸山（本名丸山とも子）が突然空路単独で帰京した

◇フィリピンの移民監督官エリリオ・ギャラング氏によって国外退去、強制送還を命ぜられたのである、彼女の話をきいてみるとこうである

ストリッパーたちは、益田隆一行と同じシェルボルネ・ホテルに宿っていた、昼はチャイナ・タウンのクラブへ、夜はマニラ市のナイト・クラブのフロア・ショウに出演していた、そのナイト・クラブで或る晩、一緒に行っていた一行の責任者でありマネジャーである小田一彦氏が「今夜はヌードで踊れ」と彼女に命じたので、彼女は嫌々ながらブラジャーをはずしたが、これが大きな問題となり、二、三日後警察によばれ、監視がつくやら大騒ぎ、一時は入水自殺の噂も飛んだという

◇結局小田氏にいわれて責任ということになれば、全体にかゝって全員が送還の憂目に陥るから、彼女一人で罪をかぶるように説得され、廿日朝十 [illegible]



（上から）マミー・川村　鞭くるす、ミキ星空、深水とも子、美山えみ

仲違い、丸山と水田
怪人物　小田一彦という男

◇それでは一たいこの事件で、誰の口からきいても一番悪玉とされている小田一彦とはどういう男か、彼はことし廿三歳、日本橋のオリエンタル・トラヴェル・サーヴィス内に事務所を置き、ロッペ・サリエル氏の通訳が本来の職業だった、今回のマニラ行ショウ団の話が進むにつれてこの世界に興味を持ち、最後にはプロデューサー気取りで、前記ブローカー南某に依頼して益田一行とは別途にナイト・クラブ向けのヌード・ショウ団を編成したといわれる

◇マニラではヌードは厳禁されているのに、ヌード・ダンサーばかりを選んで連れて行ったウラには、サリエル—小田の線で連れて行けば何とかなるという目算が立っていたのではないかと見る向きもあるようだ、踊り子たちもみな実際に現地で出演するまではヌードで出演するものだと思っていた（ローズ丸山談）というし、小田氏からもそのように聞いていたというのは、その間の事情を物語っているものといってよかろう

◇もう一つの問題は果して益田一行とストリッパーとが全然別派かどうかということだ

出発に先立ちショウ団の総プロデューサー格の山中寿氏は「此方にも一緒にという話があったが断った、公演も別個だ」といい、また益田隆も「振付まで頼まれたが断った、我々の公演プロにはヌードの人たちは入っていないのでよくわからない」といっているが、最初の予定にはストリッパー四名が入れてあったことは事実だし、曙竜代に対するキャンセル料の小切手には明らかに山中寿の署名がしてあるところから、一部では山中—小田両氏の間に、旅券下付の都合上何らかの黙契があったのではないかとの見方が行われている

従って現地電で益田隆から「同じホテルにいるので同じグループと間違えられて大困りだ」と [illegible] 来ていても、山中、小田の両氏が帰国するまでは一切は謎に [illegible]



残るストリッパーも追放か
マニラの警察で取調べ

【マニラ[illegible]UPサン】マニラで歌演している「益田隆と舞踊団」に対して、フィリピン移民監督官エリリオ・ギャラングから二日国外退去命令が出ていたが、同氏は五月六日で期限の切れる旅券の有効期間の卅日延長を考慮中だが、マニラのキング劇場で公演中の日本のストリップ・ダンサーが熱演がすぎて身のこなし、その他が少し刺激が強すぎるというので、その中の五人が警察当局に呼ばれ、非難されたことについて考慮の余地なしとし、場合によって国外追放処分をすると強硬態度を示している

【取調べを受ける左からジョイシー水田、ミキ星空、美山えみ】

東京では劇場に出ぬ彼女達

これらストリッパーたちは、いずれも東京では最近全然劇場には出演せず、キャバレー、ナイト・クラブを回って働いていた連中で、ミキ・クラブできいてみると先日の新聞に当クラブが関係しているように書いてあったが、ウチは全然関係がない、ウチ関係で行ったのはマミー川村と深水とも子の二人だけで、どうも話が臭いと思ったので極力とめたのだが、準備や何かで経済的に負担を背負っちゃって、行かなければならぬようになってしまって、出掛けて行ったというのが真相だ、丸山の話では小田とスイデンが出来てどうのこうのとあったが、そういうことはありがちなことで、そのために他の連中が泣かされているという話はウチの方では聞いていない、丸山とスイデンは前から仲が悪かったから…たゞこんなことになると今後の信用にかゝわるので、それだけが心配だとのことだった

◇ストリッパー一行の帰国の日程については、某消息通は「一ヵ月という契約が出発からか、実働一ヵ月か解釈の相違があろうし、現地で契約の仕直しも出来る訳だ、残る八人のうちマミー川村、ミキ星空、春日くるみの三人が十一日の夜八時四十五分にノース・ウエスト機で羽田に帰着するときいている、あとの五人がどうするつもりかそれはまだわからない」といっている



問題の女、ジョイシー水田

悪いのは小田とサリエル
〝早く無事帰れ〟

最後にこれらストリッパーを小田や南に頼まれて斡旋の労をとった某氏（特に名を秘す）は「一番悪い奴はサリエルと小田ですヨ」と前置きして次のように語っている「ヌードが現地ではいけないことを知りながら、丸山にヌードになれといったのも小田だし送る約束の金も送って来ないで怪しからん奴です、あゝいうインチキな奴はこの世界から追放すべきですヨ、責任者でありながらうまいことやって向うで甘い汁を吸っているんでしょう、もっともちょっと日本には帰って来られないでしょうからネ、結局一つのプロモーターが二つのショウを招いたかたちなのですが、益田さんたちにも小田は迷惑をかけているそうですネ、その背後で小田を動かしているサリエルもなかなか食わせ者ですヨ、もういまとなっては全員が早く無事で帰って来てくれることを祈っているだけですが、いずれ遅かれ早かれ小田とは対決しなければならないでしょう、責任の一半を感じて、案じている次第です」

世界流行譚（ルクセンブルグ）

労働者のフイッシャーは妻ヨハナと結婚式を挙げた夜、新妻に向って家計の方針を宣言しました。「金というものは溜まるんじゃなくて溜めるものだ。しがない安月給取りだが二人でウンと倹約して金を作り、老後の楽しみにしようじゃないか」それからの夫婦の生活ときたらいや大へん。三度々々の食事はまさか欠くことはできませんが黒パンにジャガいもに出がらしのコーヒー、肉などは月に二、三回も食べればいゝほう、洋服は年中着たきりスズメ、靴はつぎだらけ映画も芝居もどこの世界のしろものかというようなしまりきった生活を続けましたが、そのうち、いよ〳〵しみったれの真価を発揮して、電気代の節約にと、毎日日没と同時にベッドにもぐり込むという有様でした廿年後、ヨハナが天に「いくらケチ臭くしてもとうとう金を溜められなかったわね」と述懐すると、フイッシャー、負惜しみしながら「金は溜らなかったが、お蔭で子供が十一人も溜ったじゃないか」

モダン歳々記　ナイチンゲール

一八二〇年五月十二日、フローレンス・ナイチンゲールが、イギリスで生まれ、一九〇七年以来、毎年この日はナイチンゲール・デーとして赤十字事業の功労者の表彰日となっている。彼女は看護事業の画期的改良を図り、クリミヤ戦争に従軍して野戦病院の施設を完備させた。帰国後は進歩的な看護婦の養成に献身したが、戦塵の中へ赤十字旗をかざして白衣の看護婦が登場することで、近代の戦争はひどくお色気を加えることになった。

我国は明治十年の西南戦争で佐野常民が赤十字社設立を痛感したが、万国赤十字社連盟に加盟したのは明治廿年だった。それで明治廿七、八年の日清戦争には「火砲の響き遠ざかり…」というあの婦人従軍歌が流行したように、白衣の娘子軍が大陸へ派遣され、新しい女性の風俗と職場としてクローズアップされた。

もともとあの白い看護婦服はできるだけお色気を女体からとったようなものだが、女性の洋服の珍らしかった時代にはお色気も多分に受けとられ、日清、日露役時代の枕絵をみると、芸者や女学生について、これが大事な登場者になっているのである。（鮭）

愛読者優待
浮世絵鑑賞と温泉入浴
箱根強羅へ日帰り行楽

☆東京駅から箱根強羅を往復遊覧バス使用、古美術鑑賞、温泉入浴等一切を含む（但し中食ご持参のこと）半額優待一名（通常料金一千円を）五〇〇円（小人三三〇円）

6月30日まで定期バス運行

☆遊覧コース・東京駅八重洲口（前八・〇〇）出発、江ノ島—小田原—強羅常盤ホテル—美術館—強羅出発（後三・三〇）東京着（七・〇〇）☆この社告切抜き前売所で参加会員券（会費五百円）をお求め下さい☆前売所・本社事業部（56）八六四六、箱根登山バス（28）四四〇二、他に白木屋、松坂屋ビューロー、小田急京橋案内所、日鉄ガイド

後援箱根登山鉄道・主催内外タイムス社

あすの運勢　＝五月十二日＝　高島象山

▲一月生—何事も静かに整然として稼業に努力して無事社交に注意
▲二月生—勇躍して発展の道を開く技倆を発揮して努力せよ旅行吉
▲三月生—万事に不意の障害を受け易い或はけががあやまち有り易い
▲四月生—万事驀り損失迷惑あり易い殊に身内の事で心配あるなり
▲五月生—何事も人気あり信用を増し利達栄昌あり上位の引立あり
▲六月生—物事相反し相違い失望損失ある神経をとがめることあり
▲七月生—自己の思い違いより失敗あり忌憚闘諍を殊に注意すべし
▲八月生—何事も順調に発展し利達あり社交的のことに人気あがる
▲九月生—思いもよらぬ難事を引き起すことあり慎重に進退すべし
▲十月生—内外共に不安起り気迷い心動いて自ら失敗を招く注意要
▲十一月生—何事も融和向上し稼業繁昌あり就職開業は調い目的叶
▲十二月生—急変起り不安来り易い進退に注意し他意なく稼業守れ

浪人街道（153）
木村荘十　野口昂明画

花吹雪（一）

と……

鋭い、異様な鳥の鳴声が夜の大気をふるわせて、

「どうやら済んだらしいぞ」

「うん」

後は言葉もなく、足音が遠ざかっていった。

今度は、逆に啓之助達が御霊屋に近づいていく。

木立の間から、夜目にも黒く空に聳えるのは、御霊屋の屋根である。

近づくと、例の黒い柱の柵が並んでいて、御霊廟が重々しく透いて見える。

老木の根元に身を伏せて窺っていると、その柵の間から、黒装束覆面の侍が四五名、次ぎ次ぎに、躍り出して、眼の前を通り過ぎていく。

誰も、ものを云わない。

何か運び出したかと、見たが、何も持ち出した様子はなかった。

啓之助は、その侍達をやり過すと、不意に最後の一人に飛びかかった。

相手の口に手をあてて、胸元に引きよせるのと、当身を入れるのと同時だった。

「ううッ」

声がもれて、後ろから二番目の男が振り返った。

啓之助は、最初の男を突放して振り返った男をぬきうちに、肩から胸へかけて斜に斬り下げた。

「曲者ッ」

叫んだのは、斬った方の啓之助であった。

人目を忍んで、御霊屋に侵入した相手の弱身につけ入って、機先を制した一喝だった。

残った三人は、仲間を助けようと戻りかけたが、既に二人が大地に倒れたのを見ると、逃げ出した。

綾は、啓之助が、当身を入れた男を叢に引き込んで、早くも、刀の下緒で両腕を縛っていた。

啓之助は、それを見ると、逃げた曲者の後を追った。

が、彼等は増上寺の裏手の小さな池の畔まで来ると、不意に白刃を揃えて立向って来た。

「来るかッ」

啓之助が大刀を振りかぶった時あたりの暗がりから、右に三名、左に四、五名、かなりの人数がばらばらッと姿を現わして啓之助を取囲んだ。

「御霊屋を荒す曲者、手にあまらば斬り捨ててしまえ」

叫んだのは、こんどは怪しい一団の首領とも見える侍だった。

啓之助がしまったと思った時には、彼の前後は白刃の垣で囲まれていた。

幸に、相手は綾が残っているのは気がつかない様子だ。

啓之助は、例の無銘の愛刀をとり直した。

「白々しい。そんな企みの手に乗るか」

「何んとでも吠えろ、霊廟に侵入した重罪人、逃がしはせぬぞ」

啓之助は、そういう首領に跳りかかろうとしたが、白刃の垣で近づけなかった。

しかも、相手は斬っても斬っても仲間を乗り越えて殺到して来る。

啓之助は小池の水際に追いつめられて、今は逃れることも出来なかった。

が、相手としても、これ以上はどうすることも出来ない。

出れば斬られる。退けば押して来る。疲れを待つより方法がなく、そのまゝ動かず睨み合っていたが首領らしいのが苛立って、

「何を手間どる、そのまま、切先を揃えて突込んでゆけ」

と叫んだ。



ラジオとテレビ　11日（水）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷童謡集 中村愛子ほか 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 杉本亨 30 受信機講座 膝達 40 原子の国のアリス	10 東西こぼれ話 小金治 15 スイート・コンサート 25 ファイヴ・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 バンド・タイム	00 劇「ポッポちゃん」 20 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店 高田ほか
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 即興劇場 藤倉修一 大塚博 加藤玉枝ほか	00 二台のピアノのための奏鳴曲 モーツアルト作 30 科学の散歩「鳥のことば」農林技官・池田真次郎	10 録音ニュース 20 ホームソング入賞者 30 フランクの提琴奏鳴曲 諏訪根自子 安川加寿子	00 録音ニュース 10 歌の星座 田端義夫他 30 ❶三味線コント 鯉香❷落語「十徳」円馬	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ松本映子 30 ものまねノド自慢 金語楼 春日八郎 照菊
8	00 ❶漫才 一歩・道雄❷講談「三村の薪割」一竜斎貞丈❸落語「胡椒のくしやみ」春風亭柳枝	20 国際商工会議所東京総会を前にして 渋沢敬三 40 農村の歩み「つぶれる農地」語り手・渋谷アナ	00 劇「娘の縁談」林房雄作 語り手・山形勲 30 今宵たのしく 越路吹雪 灰田勝彦	00 歌のチャンピオン 司会・西村アナ（近畿大会） 30 劇「娘ひとり」乙羽信子 信欣三 日高澄子他	00 落語「船徳」志ん生 20 お笑い家庭相談所 40 劇「浪花一代男」中村扇雀 中村芳子ほか
9	05 ニュース解説小川和夫 15 シンフオニー・ホール「カルミナ・ブラーナ」オルフ作曲 伊藤京子他	00 舞台中継「虞美人」（東京宝塚劇場から）春日野八千代 神代錦 南悠子 東郷晴子 梓真弓他	10 劇「ホガラカさん」轟夕起子 野添ひとみほか 30 しろうと寄席 司会・牧野周一 木下華声ほか	00 対談と歌 高田浩吉 鶴田浩二「咽び泣き」他 30 ダンス・パレード ペレス・プラド楽団ほか	00 浪花節「正宗と村正」春日井梅鶯 30 劇「目白三平物語」宇野重吉 小夜福子ほか
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人ほか 40 ラジオ喫煙室森繁久彌	00 ❶初級解析 佐藤忠❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 劇「新選組」寺島信子 30 新盤ヒツト・ソング集	00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田鍵	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 レス・ポール特集 35 巴里の街角 枯葉大会
11	10 米国サーカスの日本娘 20 随筆「猫と犬」中村浩	05 外人の国際見本市観 20 医学の時間 松村竜雄	10 録音ルポ「危険な谷間—人身売買の背景」	00 劇「かわいそうな鬼」 30 ジエミニアーニ協奏曲	15 失われた24時間 40 緑のシエード山田耕筰

テレビ

★NHK★ ◆6・00「家なき子」◆6・30 半世紀の交友録◆7・10 こんにやく問答◆7・30 大阪千一夜「一休さん」◆8・00 スクエアガーデン◆8・30 ショウ「マンゴラリの娘」◆9・15 管弦楽「カルミナ・ブラーナ」

★NTV★ ◆6・00 世界ニュース◆6・15 西伊豆の奇勝◆6・30 ゼスチュアクイズ◆7・30 アドラーのハーモニカ演奏会 日比谷公会堂から◆8・15 舞踊劇「色彩間苅豆」花柳寛ほか◆9・00 きようの出来ごと

★KR★ ◆6・00 新編少年太閤記◆6・20 短編映画◆7・00 コメディ「十カ月払いの花嫁」大塚道子ほか◆7・30 演舞場から松竹新喜劇「燃え残りのコークス」渋谷天外ほか◆8・40 短編映画◆9・00 ニュース

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 森本貫一	8・00 自宅療養者の集い	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 劇「青春のある所」	8・10 お早ようプーチャン
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	9・45 小袖餅と高菜漬	9・15 ラジオ小説「三家庭」	8・45 お好み歌謡曲
8・30 季節の魚 松下松蔵	9・15 ラジオ国語音楽教室	10・10 名作アルバム歌行燈	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 劇「サザエさん」
9・15 主婦日記 紙谷節子	10・30 理科の窓「愛鳥週間」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題 鈴木明	11・15 日本の昔文化の改新	12・15 カメラ旅行 桃太郎	12・00 話の種 牧野周一	11・00 連続劇「信子」
11・15 朗読スラヴの子守歌	11・45 表現派の音楽の特徴	1・30 手をつなぐ未亡人	1・15 ラジオ寄席◇軽音楽	11・35 朗読「浮雲」高橋博

水底に消えた学童達

痛ましい紫雲丸沈没

女生徒ばかりが遭難

校長談 救命具つけさせる暇なし

【高松発】宇野桟橋は十一日未明から四国向け乗客は三百名が不意の足どめをくい、一時は混雑をきわめたが、途中、旅行中止駅はしだいに平静にもどっている、いち早く設けられた同駅紫雲丸遭難受付所には、悲報を聞きつけた乗船者の家族や関係者がた、生存者たちは高松港上陸と同時に、琴参ビル、市体育館、砂屋支店、四鉄病院、栄楽病院にそれぞれ収容手当を加えている…の模様である


高松埠頭につめかけた救護班と家族たち


上救助され高松桟橋に着いた生存者 下四国病院に収容された修学旅行の女子中学生＝四国新聞社提供＝共同高松電送



【高松発】眉山丸で、高松に帰ってきた松江市川津小学校校長井戸原文蔵氏(五四)は船室で次のように語った

船室で子供たちと高松桟橋での別れのテープが楽しかったと思い出を語りあっていた最中"ズシン"という轟音がすると同時に棚にあった花瓶の水が四散、船はしばらく水平状態を保っていたが、そのうちだんだんかしいできた、児童達に落着いて行動するようう(ママ)ながしたが既に船室は阿鼻叫喚、蜂の巣を突っついた状態で救命具をつけるひまもなく児童を連れ出すのにせい一杯でした、乗船者の児童五十八名のうち廿二名(内女子三名)は救助され、職員も五名の内三名は助かり、女子はほとんど助かっていない状態です、今は生き残った児童の手当でせい一杯です、まだまだ生存者があるように思いますが残念です、なんと父兄に話してよいやら胸が一杯です

横ッ腹、アッという間に衝突

南海中の父兄談

高知市弘岡町五〇武田喜義氏(四三)は

自分は南海中学修学旅行の父兄の一人で子供と一緒にデッキの入口にいたが、濃霧で約二百米ぐらいしか見えなかった、第三宇高丸がむこうからやってきたのがみえたとき、当然かわすものと思っていたところ、あっというまに右舷のブリッジのうしろの横ッ腹につきあたった、そのとき動揺があったが、次の瞬間に船は沈み始めたあわててそこらにいる子供をつれて宇高丸に引揚げた、百廿一名のうち点呼とったところ男の子が一人足りなかったが、女の子は半分ぐらいわからなかった

衝突船に飛乗る

助った乗客

また紫雲丸に乗船して難をまぬかれた高松市松島讃州製紙常務取締役塙鉄夫氏(五三)は、連絡船眉山丸で午前九時四十分高松に帰港、遭難の模様を次のように語った

高松を出港後およそ十五分して突然ガーンというものすごいショックと同時にエンジンは止り船が右に横転、約三分前後で沈没した、私は夢中で二等船室から甲板に這いあがり同船の左側をみると穴があいているのでびっくりし第三宇高丸にとびのったため幸い負傷もなかった

紫雲丸が急旋回

宇高丸船長談

【高松発】第三宇高丸船長三宅実氏は「本船は決められた航路を高松に向って走っていた、紫雲丸がくることはレーダーにより二〇〇ぐらい先からはっきり確認していたが、突然同船が左へ急旋回したためあっという間に衝突した」と語った

宇高航路再開

【大阪発】国鉄は十一日高松午前九時四十三分発十便を同十時卅分発とし宇高航路を再開、関西汽船舞子丸をチャーターし就航させる、なおこのため小荷物の受託は制限する

隣家と非常ベル装置

新宿のポン窟ついに挙る

[illegible]



娘さんを二人で暴行

[illegible]

亀戸に滅多斬り死体

日清紡球場ネット裏で

十一日午前十一時五十分ごろ江東区亀戸二の二四先日清紡グラウンド内ネット裏に[illegible]

被害者は江東区大島町二[illegible]を着た男の酔っぱらいにいきなり[illegible]

女優、夜道で襲わる

大男の痴漢騒がれて未遂

[illegible]

酒ダルで泳ぐ

まさに上戸天国

○…ポンポン船が隅田川をすべってゆく…スンバラシキ眺めにうっとりしていると、薫風いや川風にのってぷーんとぴんつけの香りが妖しく心をなでた…と、軽快な音をたてて蒸気お姐さんがきたのである、

―場所は隅田川畔、卅石入りの酒だる料亭だ、そんなところで野暮くさいという御仁もあるかしらないがこうした趣味は遊び尽した粋人でなければわからない

○…樽の中は四畳半、ちょいと体をうごかしてもすぐ触れるといったマコトに恵まれた条件しかも相手は柳橋の姐さんなのでわるい筈はない

○…「酒樽の中で酒をのむなんて幸福ネ…三昧は爪弾きにしますッ…」ときたから嬉しい、酔うほどに酒樽の中でトップリ泳いでいるような気がして正に上戸天国である―もっともこうしたお遊びには、ゼニコもメートルをあげるので、月給袋を貰って百円札を一枚々々数える連中にはおよそ縁の遠いところではある【写真は隅田川畔の某酒だる料亭】



えと文・池田寿夫

159



口説き断られ入水自殺

大酒飲みの帰国女

江東区大島町五の八二土建業大山美津子さん(四〇)は十一日午前四時半ごろ同町五の五六先小名木川に飛び込み自殺した、城東署の調べでは大山さんは一昨年ソ連からの引揚者で日ごろから大酒飲みで、昨夜も午前四時ごろまで国電亀戸駅前の屋台で飲んでいたが、帰宅の際江東区深川千田町一一東都タクシー運転手峰島正二さん(三二)の車に乗り、助手席に座って峰島さんに「今晩一緒に泊らないか」とくどいたが断わられたので「そんなら死んでやる」と現場付近でタクシーを停めさせ降りたので峰島さんは心配になり、近くの城東署進開橋交番に届出た、巡査を同乗させて現場へ引き返したところ大山さんはすでに飛び込み自殺を遂げていたもの

工員と不良が大立まわり

十一日午前零時十分ごろ世田谷区下馬町二の六七先で港区芝白金三光町二九工員中島真吉さん(三二)ら五名は、同区下馬町二の六八無職堀口四郎(三四)ら十二、三名の不良とささいなことから喧嘩となり、棒や石をふりまわして大乱闘の末中島さんが頭や胸にひん死の重傷を負ったほか、同町二の二九ブリキ屋手伝谷口俊夫さん(三二)ら四名はそれぞれ全治一週間から十日間の傷を負った、世田谷署では地元の不良の犯行とみて午前二時ごろ同区下馬町二の二四無職柳田久勝(三二)目黒区唐ヶ崎六二八工員小林寛(三二)同区上目黒五の二六五八工員石川一郎(三〇)の四名を傷害容疑で検挙した

美男美女、制服の手踊り

一日交通巡査の折原啓子と近江俊郎

○…十一日朝八時すぎ国電代々木駅前の交番に、あかぬけた男女警官がメガホンかた手にピーピーと笛をならし、なにかなれない口調で「右側を歩きましょう」とやっていた

○…これは今日から十日間全国一斉に始まった春の交通安全運動に、川合原宿署長が考えた"芸能人の一日警官"で、女優の折原啓子さんと歌手の近江俊郎さんの交通整理の一コマ

○…ところがいけません、通学の洋裁 生が「私にサインして頂戴」お二人をかこんでとんだ交通整理…それでも職務中は絶対にサインに応じられませんとガンバリにわかおぼえの手さばきで、一時間約二千台という自動車の流れをさばいていた【写真は整理台の折原啓子と近江俊郎】



皇太子 自動車ショウご見学

皇太子さまは十一日朝九時卅分、東京日比谷公園で開かれている第二回全日本自動車ショウにおいでになった、浅原自動車工業会長三宮いすゞ自動車社長らの説明でヒルマンそのほか各社の組立外車トラック運動コンベア、ダンプトラック、国産車、三輪車、陳列中の自動車写真コンクール入選作品などを一時間にわたり興味深く質問を交えて見学され同十時卅分お帰りになった【写真は全日本自動車ショウをご見学の皇太子さま】



銀座に覆面強盗

女将を脅し三万円強奪

十一日午前三時半ごろ中央区銀座西六の四料亭柳月経営者石井利孝さん(六八)方に廿四、五歳白ハンカチで覆面した、東北なまりの男が押入り、石井さんの妻つかさん(五[illegible])にナイフを突きつけて脅し、現金三万円を強奪して逃走したと築地署に届出た

もぐり斡せん

娘売り三名逮捕

青森県八戸市小中野町左比代一の七無職川村あさ(六〇)同町中道二の四九無職道ノ畑りつ(六〇)大宮市宮町四の一二九〇特飲店主鷲野義民(四〇)の三名を職安法違反容疑で検挙した

調べでは川村は鷲野に女給の世話を頼まれ、以前からモグリ斡旋業仲間の道ノ畑と共謀、道ノ畑の娘久慈とく=秋田県鹿角郡大湯町芸者置屋陸奥屋=方の女中A子さん(三五)に「もっと稼ぎのよいところがある」とだまし去る二月廿四日A子さんを六千円で鷲野に売りとばしていた

鷲野方に移ったA子さんは妊娠中という酷使にたまりかねさる三月十八日祖母の大田区上池上町四七永富乙女さん(六〇)方に逃げこんできたことから一味の犯行が判明

穴沢文京区議逮捕

大塚署では十日夜文京区大塚窪町二四文京区議(民主)穴沢一(四七)を公選法違反の疑いで逮捕した、調べでは四月中旬選挙事務所開きに同区の有権者数十名を招き供応投票を依頼したもの

神田の火事

十一日午前一時四十分ごろ千代田区神田司町二の四製本業吉川君さん方から出火、木造平屋二棟廿坪を全焼、神田署で取調べ中

あすのスポーツ

△プロ野球 毎日対大映(二時、後楽園)東映対近鉄(二時半、駒沢)トンボ対西鉄(七時、川崎)△野球 学習院対農大、駒大対中大(零時半、神宮)△ボクシング 関東大学日大対早大法大対拓大(五時半、日比谷)△競馬 大井(零時半)

独眼灯

○…台東区の谷中墓地といえばこれから夏にかけてアベックの天国ともいえる桃色境

○…その一群に混ったわけでもあるまいが住所不定無職高橋文子(三三)という夜の女が上野駅前から一稼ぎとみこしをあげてきた

○…アベックは多いが男の一人歩きが全然なく、最後につかまえた客は台東区上野車坂の無職佐藤力さん=仮名=という六十六歳のお爺さん「こうあぶれてはやりきれない、百円でいいわよ」と墓石のかげまで連れこんだところを売春現行犯で谷中署員に捕った

川崎競輪二日目成績

◇第一B(千二百)❶小島親1分46秒1❷榎原繁¾車❸新井良(複)110円100円120円(単)200円(連)❷―❸860円 ◇第二B(千二百)❶後藤武1分45秒3❷井上弘大差❸小川豚(単)250円(複)110円150円80円(連)❻―❸780円

【千葉】

待望の"関東ダービー"はいよいよ十二日から連続六日間千葉競輪場で行われる

◇男子=いずれも全関東の精鋭が出場するだけに運日皿を湧かす熱戦が展開されよう、まず優勝候補をあげると、門司の全国都道府県四千米で見事栄冠をものにした東京の植村英、好調を続ける平林巳、依然強気の貫録十分な高倉登、追込みよい神谷恵、さらには逃脚よい神奈川の力石岩、小澤久、地元では好気合の白鳥伸、及川光ら、またとくに警戒したい選手は東京の相澤昭で最近の成績は素晴しく四月の後楽園では豪快なレースで堂々優勝しているので大いに期待される、このほか田辺長、石原健、原崎、松本英杉井止らの健脚がいる

◇女子―都道府県千五百米で田中和、立川玉らを破って凱旋をあげた斎藤二がその余勢をかって優勝目指そう、この斎藤と覇を争うのが女豹の高倉実と久野治の両者、女ながら男顔まけの地脚の持主、生方貞は最大のダークホース(睡雲京一)

"コテイヂ"の静けさは絶対です

ゴールデンウイークも終り、五月の空も希望にみちたように、スッキリと晴れ渡り、道ゆく人々も、サツパリした服装で、見る目も楽しい季節になった。暖かくなるにつれて、人込みを嫌って静かなところで楽しい語らいも悪くないが、大体に於て、騒々しいところが多い。だが、あなたの目の前に涼しい憩いの静かな場があるのをご存知ですか?…新宿駅表口地下のロータリー食堂別室の"コテイヂ"は、五五年型ニュースタイル喫茶としてお目見得している。地上の雑踏を思うと、あまりの静けさで、一度行った人は必ずビックリ驚天うたがいなし。一パイのコーヒーといゝ、一パイのコテイヂカクテルといゝ、これからの飲物として絶対なものので、値段も並なので、同伴向には絶好の憩いの場所と指定している人もいる。

飲酒代が只になる!

時代の流と共に、世の中の風俗も変ってくるのは面白い傾向だが、ネオン煌く巷のバーなども、フランス調の名をもじったのが多いなかでも純日本調の店のあるのを ご存知ですか? その名は"バー銀行"ちょっと固い名だが、さにあらず。純粋の京美人をまじえた乙女達がズラリ揃っているのも豪華版といったところ。典型的な銀座の女の発祥地? とでもいたい店である。場所も、銀座四丁目から入って、ムウビー銀座の並び、二三軒先の二階で、腕に自慢のバーテン氏のカクテルは絶対の味覚である。他店と変っているシステムが一つあるが、これはお客さんが飲んだ金額をトータルして六ヵ月後位に、飲酒代の何%を払戻すというのも、"バー銀行"

奥さんへのお土産はパチンコ「壽」で

▶景品のいいこと東京一◀

初夏の風に乗って、どこからとも聞こえて来るのがパチンコの音だ。連チャンは禁止されたが、単発でもやはり大衆の娯楽の王座としての貫録充分。そよ風を満喫しながらのパチンコは今が最もいい季節だ。特に神田須田町の万世橋交叉点寄りにある逆さパチンコで有名な「壽」はキャバレースタイルの豪華さに加えて、換気通風装置が完備しているからなお楽しい衛生的にも、幾百幾千の人が集まる場所だから、せめて時間をネバル方は「壽」へ行って貰いたい。機械はマツヤ式代理店として名を売っているだけにいつも新しくしかも入り具合のいいヤツばかりが数百台揃えてある。景品は豪華だし交換率のいいことも有名だから、ちょっと一杯の後で奥さんに土産が欲しかったら「壽」でパチンコをやる、というマニヤがだんだん増える傾向にある。

新宿の「三平」が放つヒット 妹姉店グリル「さんぺい」 "12日開店味覚の民主化"へ

一流グリルで本格的な洋食を大衆値段で食べたい。どうもぜいたくな了見だが、つまる所食うことの欲望はここに落付くのだからやむを得ない。食べる方ではキリのないこんな欲望も、食べさせる方が伴わない限り、それは夢で終るわけだが、たった一軒、こんなぜいたくな欲望を満足させてくれる店がある。新宿の食堂「三平」といえば、既に定評のある店だから、ご存知の向きも多かろうが この店が来る12日同じく新宿の東口前富士銀行と住友銀行の中通りを入った右側に姉妹店を開店して大々的に庶民の欲求に応えるべく乗り出した。いうなれば"味覚の民主化"グリル「さんぺい」のアッと驚く新企画である。

先ず店を見給え。入口から側面の壁まで、大理石でうずめつくした建物は、キャデラックで乗りつけなければ均合いがとれぬ程の豪華さだが、自前の都電で行く手合い大歓迎、いやキャデラックやビュツクの方がお恥かしいという程の徹底した大衆性だ。室内に入ると、一階、地下、二階と三つに別れて、そのときの気分でお好みのままに入れる趣向がこらしてある。地下一階はテーブル式になっているから、子供や奥さんづれで映画の帰りなどに寄るといい。奥さんなど部屋をみただけで卒倒しかねないから、胸をたたいて"安心し給え。今日は僕が責任を持つ"とやること。旦那さんの貫録がとたんに一貫目位は上って見える。二階は粋な座敷だ。座って食べる洋食は、又何ともいえない親しみのあるものだから恋人同伴で行くといい。恋の成功不成功は一緒に飲み食いする店の雰囲気で決るという。このの店なら満点だ。しかも値段は普通の食堂並み"味は三平"の定説がくつがえるようなことは絶対ない。

という名に合った面白い方法だ。それでいて安く、ノーチップ制である。戻しが多ければ飲代が只にもなるわけである。

初夏の高原を思せる

五月の空にユラ〳〵と立登る一筋の白煙。窓を明けてみれば、一面の草原を思い出させるような"山小屋"の雰囲気をそのまま味わえる新宿は、西武新宿駅前横の"山小屋"は若人のメッカだ。大木をそのまゝ店の入口にあしらった店内も、天井から釣ったランプの光が淡く光を投げているのも情緒たっぷりで、流れ込む涼風が、ソヨソヨと頬を打ち卓上のローソクがほのかに揺れて、一杯の山小屋カクテル50円、グッと喉を通る感じも何か、郷愁を思い起す。似たりよったりの店はいくらもあるが、新宿の"山小屋"ほど、高原の匂いをふんだんに漂わせている店は、そう、さらにはあるまい。ウオッカ60円コーヒー50円。

続 情炎の千代田城 (103)

岩崎栄
寺本忠雄画

敵味方（七）

追っかけてくる声が、すぐうしろに踵を接して聞こえた。

お静は刀を口に、豹のような柔軟さで飛び上った。楓だか桜だか大木の梢にブラさがると、尻をはねて更に上の枝へ足をかけ、くるりと起き上がって、スルスルと幹をよじ登った。

ところが、半兵衛もまた、一髪の間に枝へ飛びつき、梢を踏んで幹に縋りついてくる。

お静は、きわどい瞬間をパッと木から離れた。三間ばかり先の巨木へ、ムササビ翔りの秘法で空中滑走をするのだった。

よもや、このわざ、大川半兵衛にはあるまいと思ったのに、これもすぐ同じように空間をヒラリと泳いで来て、しかも追い討ちに白刃の閃きが、サッと来た。お静の腰のあたりにザクリと深く斬り込む刀勢だったが、あやうくうけ流した。

おそろしいような秘芸の極意である。ふたりとも宙空をかけながら斬りつけ、また受け流したのだ。

お静は飛び移った巨木の幹を、てっぺんまで登りつめた。むろん下から続いて、半兵衛の手が、足を掴むばかりに接近して来た。

絶対絶命の場合だ。山が尽き、樹が無くなって、下は一めんに黒い水を湛えた大池なのだ。いかに忍術だからとて、樹の梢を離れて天空に舞い上ることは出来ないし、されば池に飛び込むわけにも行かぬ。池を泳いでいるうちには周辺は、たちまちに槍や鉄砲の簀立になる。

ついに最期——と見えたとき、お静の体が俄に、まっ逆さまとなった。両足で樹のさきを挟み、ちょうど蛇が木の枝からブラさがったかたちで、すぐそこによじ登って来た半兵衛の頭上から、えいッと斬りつけた。まったく捨てばちな、窮余の戦法を採ったのである。

さすがの半兵衛も、意外の奇襲にハッと首を縮めると同時に、スルスルと幹を一間ばかり辷り落ちると、左腕に幹を抱え、右手に刀を構えて、降りてくるお静に備えた。

お静は当然降りては行けない。さりとて再び登れば半兵衛もまた登ってくる。しかも梢は尽きて、それから上は無限の夜空だ。

も一度、身をさかさまに、敵を防ぐよりほかの手は無かった。

しかし、こんなことを繰りかえしているうちには、いまにも捕手の人数が、ここに殺到するは必定だ。

すでに来た！ 暗くてわからぬが、地上から跳躍して、モノをもいわず半兵衛に斬りつけたものがある。

（あ！ 同士討ち）お静はホッと救われた気持になり、この隙に——どう逃げおおせたものかと思案する。

不意に下から斬りつけられた半兵衛は、驚きながらも、すばやくかわして樹から飛び降りると、怒鳴りつけた。

「あわてものッ。味方だ。大川半兵衛だ」

ところが、誰ともわからぬ黒い影は、やはり無言のままに、怒鳴る半兵衛へ鋭く斬りかけて行くのだった。

半兵衛も、もはや声は出さない。この不思議な敵と斬り結ンでいる。

高い梢の空にいるお静には、暗い地上で、どんな死闘が展開されているかはわからぬ。

ただ、おそろしい気迫と、烈しい息づかいと、地面に鳴り響く足音と、刃鳴りと火花とだけで、おそ物凄いばかりの暗闘が想像されるのだった。

やがて、どっちかゞ遠くへ飛ンで、そのまゝ風を切って逃げ去る気はいだった。



大監督→コンビ←スター

秋の大作、準備進む

お盆映画の企画もほゞ一段落ついたきょうこのごろ、続いてくる秋の大作シーズンをひかえて、各社とも巨匠、大監督連の作品が続々決定しはじめた。しかし年に一本か二本しか撮らぬ巨匠ともなれば、そのキャストの選定にもいろいろと注文があり、脚本からくるイメージの相違もあって、なかなか会社側のおしきせ俳優ではそう簡単にはいかないようだ。さて、それでは大監督に好かれるスターは誰？


吉村公三郎


新藤兼人


乙羽信子


日高澄子


小津安二郎


原節子


溝口健二


香川京子


津島恵子

好き嫌いの強い〝木下先生〟

乙羽・日高オンリーの吉村、新藤両監督

師弟二代（黒沢・堀川）に懇望された久我美子


黒沢明


木下恵介


堀川弘通


小林正樹


久我美子


高峰秀子

まず昨年「女の園」「二十四の瞳」で各種の賞を独り占めにした木下恵介監督が目下準備中のものにオリジナル・シナリオ「君ひとり」があるが、この主役には早くもお気に入りの高峰秀子、田村高広、久我美子の三名が決定している、もっとも木下監督の場合は非常に好き嫌いが強いようで、この二〔三〕年来の [illegible]

続いて同じ小林監督の「美わしき歳月」にも目下主演中で、更にこの七月一本になる予定の木下門下生川頭義郎監督の昇進第一回作「お勝手の花嫁」（脚本木下恵介）の出演も決定して、専ら木下学校の特別生徒待遇といった存在になっている

また昨年松竹から離れフリーとして沈黙を守っていた小津安二 [illegible] た初めてだが、それ以後に同監督のチーフであった小林正樹監督の「この広い空のどこかに」へ出演 [illegible] 督は原節子が一番のお気に入りであることは間違いない

また黒沢明監督も昨年「七人の侍」を完成して以来、念願の原爆問題をテーマにした「死の灰」のシナリオ執筆に専心していたがこの程その決定稿が出来上り、キャスト選定にかかっている、現在まで [illegible]（脚本黒沢明）に久我を使って製作にかかっている、しかもこの堀川監督の演出技術が黒沢に生き写しでフィルムも通常八千呎かかるところを一万五千呎使って、まるで〝ゼミ黒沢〟だとかいう評判もあるから、これは師弟二代にわたる岡惚れだろうというわけだ

女性を描かせては当代随一といわれる溝口健二監督は「楊貴妃」を完成してこんどは京都で吉川英治原作の「新平家物語」の準備にかゝるが、彼のお気に入りは田中絹代というのが定評になっている、ところが田中絹代も最近では監督業に転向し従来の [illegible] スケジュールさえ都合がつけば彼女を出演させる意向が強いと伝えられている

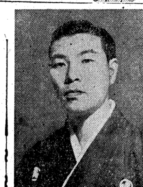
そのほか今井正監督が「由起子」で津島恵子と「ひめゆりの塔」以来の顔合せをやれば内田吐夢監督も「たそがれ酒場」で同じく津島を使うといったように同じスターがぶつかる場合もあるわけだ、しかし何といっても監督対スターの立場で必ずといってもいゝのは吉村公三郎、新藤兼人両監督の場合で、この作品には乙羽信子、日高澄子が出ないことがないといった例はこの世界でも少い、従ってこの組合せこそ、この種のものでは止めをさす名コンビだともいえそうだが、これについて吉村監督は「僕が原節子君と組んで二本松竹で撮ったことがあったが、その後すぐ二人のことが噂になって彼女はその後の写真をいやだといったことがあった、つまり監督と女優をそういう眼で見るものがいる限り、なかなか良いコンビなんて独立プロ以外は出来るものではない」といっていたが、このあたりがやはり監督と女優の名コンビ物語りの結論ということになりそうなのである



松竹「醜女の日記」製作

松竹では監督野村芳太郎、主演佐田啓二、岸恵子で「醜女の日記」を製作する、撮影開始は八月の予定

新人山脈（浪曲） 広沢菊衛



本名福井巌、昭和二年六月二日千葉県銚子に生れた、それでチョウシがいいわけでもないだろうが十二歳の時、土地の祭礼の際素人ノド自慢にて浪曲で、鐘三つ鳴らした、十九歳で広沢菊春に入門初舞台は廿一年、八丁堀の住吉亭、放送は廿三年NHKでやった「大浦兼武」が最初、十八番は「祐天吉松」や「蟠随院長兵衛」など、人柄が至極まじめなだけに芸が鈍重で明るさがない、本人もこれに気がついて明朗なものをやりたい由、趣味は魚釣りと映画

メロディの旅 東北・北海道巡演

リンゴも色づきゃ……

りっぱに大人の気分を出す野村雪子


野村雪子

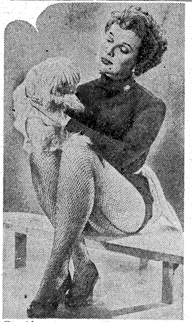
ヘハアー リンゴ召しませ 青森のリンゴ 堅くて甘くて娘の頬は、劇場窓口でお化粧の最中…とか何とか歌いながらリンゴ列車の窓からまいた愛嬌が縁で野村雪子は流行歌手となったが、このリンゴ列車の縁がどこまでもついてまわっているらしく、彼女はマーキュリー・レコード会社の一枚看板となったこのごろでも、きょうは東、あすは西へと夜を日についで全国行脚して歌いまくっている、おまけに久しぶりで東京へ帰ってくれば、やれ放送だ、吹込みだとマイクロフォンに追い回される、さすが十七、八の娘の身としてはこのメロディの旅は難行軍だったらしく、どこの旅先ででも、歌い終って楽屋へ引上げてくると「アーア、くたびれた」といいながら、ろくに着更えもしないでゴロッと横になるのがクセになってしまったとか、同行の悪童連も心の中では可哀想にと思うものの、花の蕾が疲れに汗ばんでゴロ寝する風情には「何となくモヤモヤッとしたフンイキが漂って、得もいわれぬ味があったよ」と述懐している

もっとも野村雪子という少女歌手はもと〳〵そういう甘い味をもっているというのが評判だ、ナイロン・ブラウスにつぶらな乳房を隠した大柄な身体は、悪くいえばオマセという感じが強いから、仙台だかどこだか、とにかく東北の巡演先で「あれでまだ娘っ子かい、もうとっくに嫁にいってもよかっペエに」と一杯キゲンのお百姓さんにヤジられた、彼女ペロッと舌を出して平気な顔で歌をつゞけたが、後で「男のファンっていやね」とさもニガニガしそうにつぶやいた「歌う時の気分という態度といゝ、もう立派に大人ですナ」八志摩亀生は舌を巻いていた、

民間放送からエロ歌謡と物言いつけられたばっかりに、それを歌えば忽ちエロ歌手のラク印を押されるのが昨今だが、テイチクで「ちんきら節」を歌った鹿島夕起子もその一人、そこで忽ち「もう歌手なんてカリ ゴリよ」といってやめてしまったものの、やはり歌には未練が残るらしく矢代一恵と名を変えてマーキュリーで歌っているが、こんどは独身でいることが滅法に淋しくなったらしく、北海道の旅先で「いゝ加減に歌手稼業をやめて、早く落着くところへ落着きたくなるわね、女って…そんな気持の時とってもやるせないものよ」と舞台に立つ前、支配人を相手にしみじみ洩らしたとか、その日の彼女は眼にうっすら涙が溜っていて、「そこはかとない哀感がこもっていたよ」と同行のK君は語っていた


矢代一恵

彼★女★の★祕★密★？ ワン君は知っとるデス



○…人間どもは、「まあ可愛い」だなんて勝手なことをいっていますが、チンコロにとっては前も見えないほどに毛を垂らしているのは随分と迷惑なことなんでしょうねえ、ものがいえれば「ボクも床屋に連れてっておくれよ」とでも文句をいうところがね、実をいうと細い毛の房を通してもちゃんと見えるんですって

○…「ボクだってチン仲間じゃもう年ごろなんだぜ、だからこのご主人モナ・フリーマンさんの夜の着更えや浴室の脱衣場をときどき覗いてみることもあるんだ、でもさ、モナさんはぼくが毛の間からワクワクしながら見てるとは思わないだろう、だから何でも平気なんだぜ、エヘッ、こないだ、あんまり見たいもんだから首を上げてたら、まずいことに風のために毛がゆれて片目が出ちゃったんだ、トタンに〝まあ、この子はッ〟てどやされちゃったけどさ、アハハー」とこれは彼が隣家のテリヤにコッソリ打明けた話ですとサ【写真はNANA特約】

その日そのとき ⑨ 浪花千栄子

心配性のお人よし

子供の頃の苦労が身にしみて 自分のことより他人の心配

（とき）美しき五月となれば空はあくまで青い…なんてのはオセンチなどこかのお嬢さんがいうことなのだが、この日は確かにそういった空の青さだった、ところがこゝだけはその青い空なんて見る人は一人もいない

（ところ）何しろ浅草は六区の映画街なのだから、上を見ればノボリと広告と絵看板ばかりがいばりかえっている そのすきまから青空が恥ずかしそうに顔を見せているという寸法だ、つまりこゝには空がないということなのだ、雨か、曇りだろうか、晴か、の二通りでいゝのだ、曇りだろうが快晴だろうが、とにかく雨さえ降らなければ何となく人はさまよい、どこかの劇場に吸い込まれてくれる仕掛けになっている

（と）ころでその楽屋と舞台一を往復して一日を暮している浪花千栄子のオバハンには妙なクセがある、客席に傘があるかないかで「アア、きょうは晴れやろな」とか「まんの悪いこっちゃ一雨かいな」と思うだけならいいのだが、降り出せば降り出すで「ああ雨になってしもうて、外に出てはる人は気の毒なもんや、どないして濡れずに帰れるやろ」てなものだし晴れると「やあー、お天気になってしもうて、隣のヤヤちゃん長靴買うてもろて楽しみにしてはったに可哀想にねー」等といった具合にまで思いをはせる つまり彼女は大変な心配性で親切でお人好しということになるわけだ

「あてがこないになりましたんのは、五つの時に母に死なれましてなあ、九つから十年女中奉公したせいでんね、だよって子供の頃から神様に手を合せるのんが、あての趣味みたいになったのどすわ、それやから他人様のことがて心配になってくるし まして他人様を押しのけてあてが出ようなんてちいっとも思いまへんし、ようできゃしまへんのです」とまことにひかえめだ なるほど邪心もなければ、中年女性特有のお姑さん的表情もない、まるっきりやさしいオバハンの顔なのだ

（し）かもその顔にはまだ十分にお色気さえあるとしたら、本来の彼女を知らぬ者は驚くようなものなのだろう、「あての楽しみといったら犬や猫と遊ぶことですわ、今でも鶴子と亀夫という犬二匹と福と徳という猫がおりますわ、ほんまに可愛いものでっせ、あの子達は人を裏切ったり、不幸にしたりしまへんねん」といって彼女はそこで淋しそうな表情をみせたのである、よほど淋しい過去があったものだろうが、それについて彼女も語ろうとはしなかった、そして立上ったのである「何や甘いもんでも買ってきますわ」といって…その顔にはまたもとの彼女らしい明るい笑みが浮んでいたし、売店の女の子に接する声は例のやわらかい関西弁の〝浪花メロディ〟だったのである

映画やぶにらみ 男ありて ＝東宝作品＝



▽…野球にすべてを捧げて家庭の一切を妻（夏川静江）にまかせきりの老監督（志村喬）この父を愛しながらもその言動に反発を感じないではいられない娘（岡田茉莉子）そして彼女を愛するようになる新人投手（藤木悠）老監督を助け、負けのこんだ球団を建直す主将（三船敏郎）といった人物配置で、老監督が生涯をかけた仕事への愛情がやっと子供や若い選手たちに理解された時は、もう彼は引退し、妻も死んだ後だったというきびしい勝負の世界をテーマにしたホームドラマ、演出丸山誠治

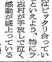
▽…菊島隆三の脚本も従来の野球映画の甘さをうまく消化して、ありふれた野球シーンなどを極力さけようとしているあたり賢明だ、それだけに老監督の心理の掘下げもなかなかガッチリとしていて、丸山監督としては久しぶりに会心のホーム・ドラマになっている、しかし野球場面になると二度も足をクジく選手が出てきたり、同じ格好で運ばれたりするからボロが出て、このシーンはまたかと思わせたりするのはいささか慎重を欠いた感じ、志村、夏川老夫婦の呼吸はピッタリ合っていてまさに圧巻といえよう、特にラストの墓前で志村が手放しで泣くあたり心よい感動が盛上っている（勇）

【写真はその一場面】

「楊貴妃」と「修禅寺物語」の二本 ヴェニス映画祭参加作品

第十六回ヴェニス国際映画祭は八月廿五日から九月十日までヴェニス市で開催されるが、わが国からは劇映画二本の参加が決定した

はと笛



▽…富士映画で「天下の若君漫遊記」に出演している日活の高友子とにかく時代劇ははじめてだし、お話が松平長七郎ものとあってチャンバラ・シーンも相当あるわれ、あわや落花狼藉という場面を撮ったが、このシーンも大変な騒ぎ、何となれば彼女おそわれてキャーッというところにくると反対にゲラゲラと笑ってしまう、これには丸根賛太郎監督も困ったのだろうが、おどろいたのは長七郎の明智三郎「逃げられる娘がゲラゲラ笑っていたのでは、どうも張合いがなくて…」とボヤイていたが、彼女にいわせると「だってあたしは今までかばわれるなんて役なかったもの、クスグッたくて」とは大変な娘役【写真は高友子】

名選 都々逸 石井きんざ選

妻と書いたりまた妹と 書き直したり迷う宿 澁谷・柳 縁郎

家計簿が黒字になつたらあたしと女 坊やを産む気の胸算用 國分寺・佐藤千恵子

てるてる坊主を味方につけて 明日は晴らして見たい空 浅草・松鶴家千代菊

こんなに静かに向き合う夜で 花の香りにいる茶房 文京・加藤辰巳

◇

飲む程酔う程出て来る唄は 二人で覚えたい唄 選者

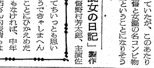
催し

講談弁友会 本牧亭へ毎月十一日出演していた講談弁友会は今月から山口ホール（國電御徒町下車、都電四町角）で公演する、その第一回は十六日五時開演で、出演者は谷天朗、國井紫香、生駒雷遊、山野一郎、徳川夢声、犬養一郎など

榎本映一・風俗スケッチ展 新橋烏森通り「レイノ」ギャラリー、11日—26日

横所山公一・香取希世子舞踊研究所 では六月十二日一時半、六時の二回、第一生命ホールで発表を行う、特別出演は現在マニラ公演中の益田隆

おしゃべり横丁



新茶の季節 こっちもお茶をひいているわ —キャバレーの女給